

ひばりだより

NO. 10
2019年4月

今回のひばりだよりは、シャントエコー検査についてお話していきます。透析を続けていくうえでシャントは必要不可欠です。できるだけシャントは長持ちさせたいですね。そのために、患者様自身でできることや、定期的に病院でエコー装置を用いて検査をすることが大切となります。

バスキュラーアクセス (VA) とは

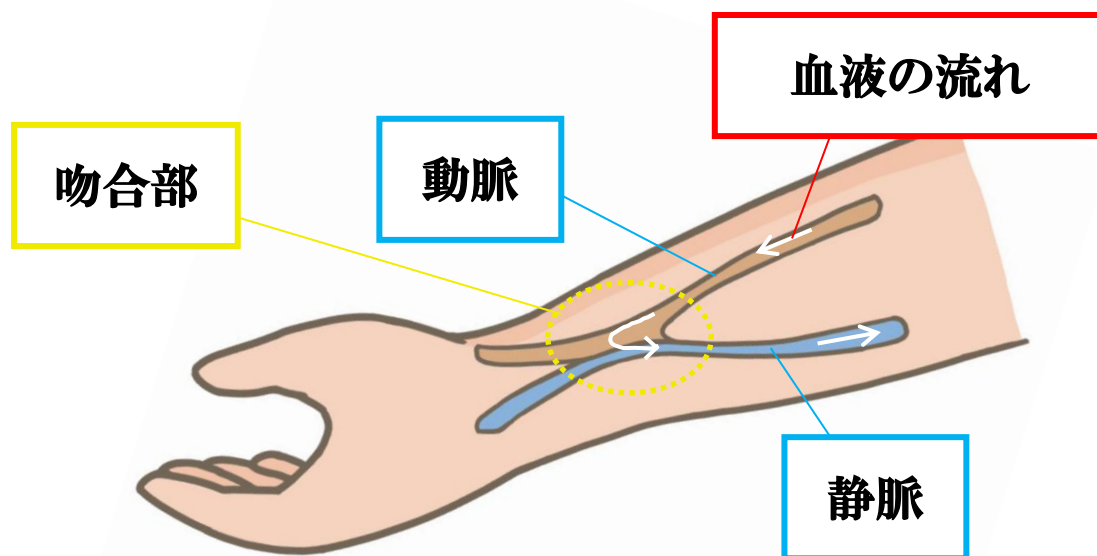
まず、バスキュラーアクセス (以下、VA) とは血液透析を行う際に、患者様側の血液を脱血したり返血したりするための出入り口のことです。

VAの中には、自己血管内シャント、人工血管内シャント、動脈表在化、透析用カテーテルというものがあります。そのうち、およそ9割の透析患者様が自己血管内シャントとなっています。

そこで今回は主に自己血管内シャント (以下、内シャント) についてのお話をしていきます。

内シャントとは何か？

血液透析を行うにはたくさんの血液（1分あたり250～300ml）が流れる血管が必要となります。そこで“内シャント”と呼ばれるものを作ります。手術にて腕時計をするあたりで動脈と静脈をつなぎ合わせる（吻合する）のが一般的です。



内シャントの観察ポイント

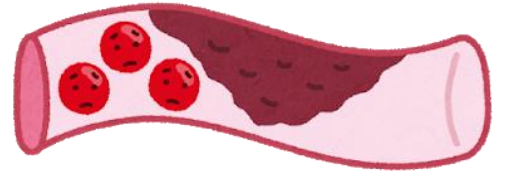
★毎朝、血液の流れる音を確認してみましょう。

1. 聴診器をシャント部に当ててみる
2. 耳をシャント部に当ててみる
3. 手をシャント部に当ててみる

1～3のいずれかでザーザーと音がすればシャントは流れています。

★毎朝、シャント部の状態を見てください。

- 1.皮膚が赤くなっていないか？
- 2.腫れていないか？
- 3.熱っぽくないか？
- 4.痛みはないか？
- 5.出血してないか？



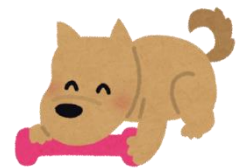
*シャント部は透析前には必ず石鹸で洗い、清潔にして、感染を起こさないようにしましょう。

*透析をした日の入浴は避けましょう。穿刺部位を濡らしてしまうと感染の原因になります。

*シャントを作った腕に重い物をぶら下げたり、腕時計をしたり、腕まくらなど、腕のしびれるようなことはしないようにしましょう。

*シャントを作った腕では血圧測定をしないようにしましょう。

シャントエコーってなに？



次に、シャントエコーとは超音波診断装置、いわゆるエコー装置を用いて血管の状態を画像として見て、診断を行うことです。体外から超音波を送ることで血管の断面画像が得られ、そこから

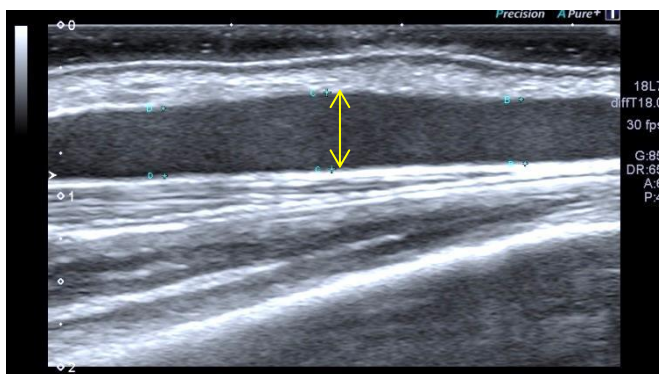
血流量や狭窄の有無、瘤の有無、血管の内径などを調べることができます。

シャントエコーは、シャントが閉塞してしまう前の適切な時期にシャント PTA（血管を拡張させる治療）が出来るようにすることを目的としています。

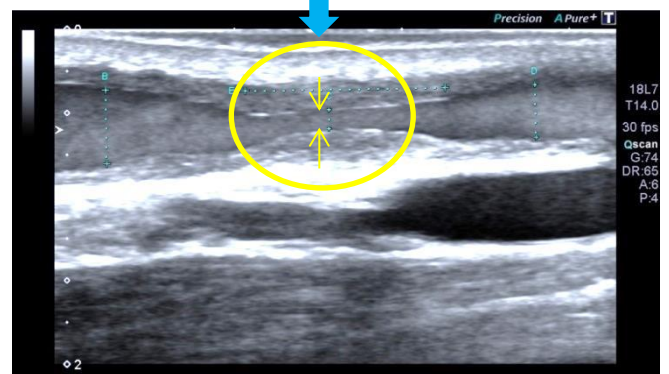
当院ではシャントエコーは年に1回行っています。また、シャント PTA を行った患者様はその後の経過を診るために、短い間隔で検査を行っています。

～実際のエコー画像～

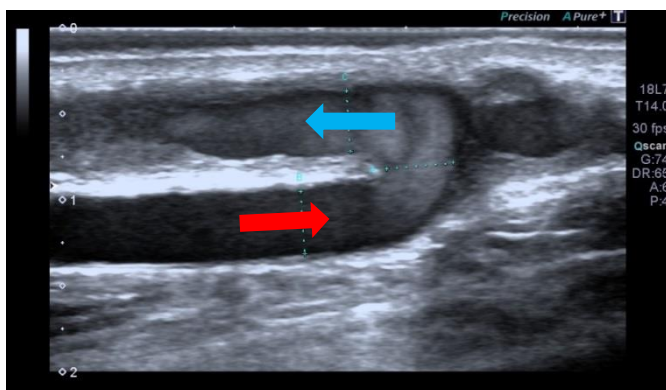
狭窄部



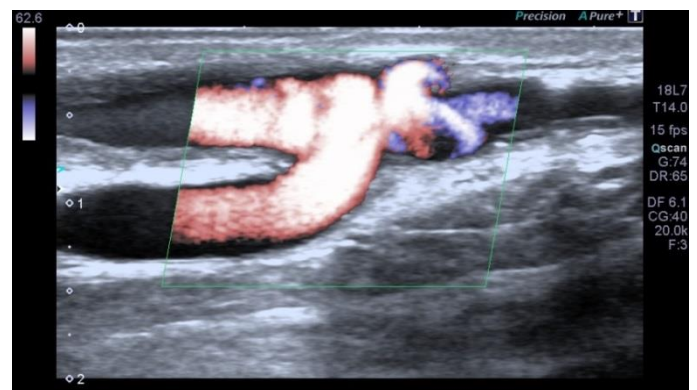
正常な血管



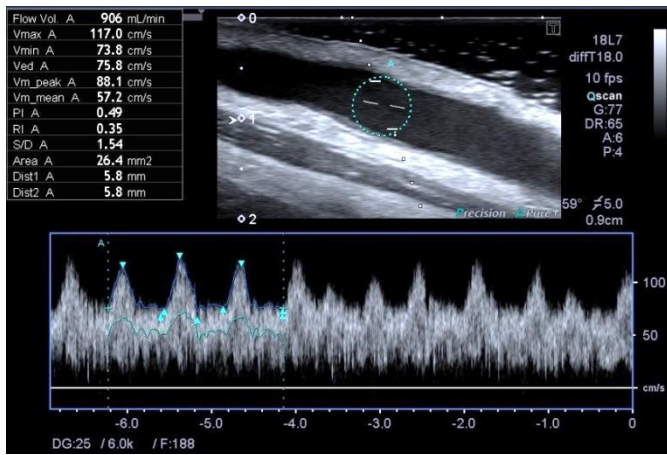
シャント狭窄



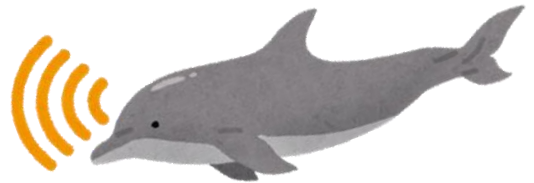
吻合部



吻合部のカラー画像



血流量測定



～当院で使用しているエコー装置～



透析センターでシャントトラブルの早期発見と穿刺位置の評価を目的とし穿刺前に 20 分程度でシャントエコーを実施いたします。

透析患者様の命綱ともいわれるシャントを長持ちさせるために当センターでは積極的な管理・観察を行ってまいりますので、ご理解をお願いいたします。

「日頃、シャントの音を聞いたり、シャント血流の振動を感じたりはしているけど血管の中は問題ないだろうか」と気になっている患者様や、普段シャントの音を聞いたことの無い方もいらっしゃると思うので、ご質問のある方は透析センターのスタッフまでお気軽にお声かけください！

..... 切り取り

切り取り

患者様アンケート

今後、ひばりだよりを発行していく際の参考にさせていただきます。こちらのアンケートは待合室のご意見箱に投函をお願いします。

- 今回の内容はわかりやすいですか？
わかりやすい ・ ふつう ・ わかりにくい
- 文字は見やすいですか？
見やすい ・ ふつう ・ 見にくい()
- 次回号はこんな内容を知りたい！などのご意見、ご感想などございましたら、ご記入ください。

[]